

06.7.19 通所リハ研修会受講アンケート

① 参加者年齢構成

～19歳	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	不明	合計
	5	16	15			36

② 職種

医師 施設長	看護師	介護員	相談員	ケアマネ	PT	OT	ST	その他
		10	6		9	11		

③ 講義内容

講義1	参考になった	参考にならなかった	どちらでもない	無記入
	33	0	1	2
講義2	参考になった	参考にならなかった	どちらでもない	無記入
	32	0	0	4
講義3	参考になった	参考にならなかった	どちらでもない	無記入
	29	0	2	5
GW	参考になった	参考にならなかった	どちらでもない	無記入
	15	0	2	19

④ 具体的感想

講義1

- ・自分のところの施設ではまだまだむずかしいが、生活行為向上リハはとても魅力的に感じた。QOL も上がるだろうし、ぜひ取り入れたいです。
- ・加算の説明方法をもっとわかりやすいツールの活用を検討したい事。ギャップの把握について事前の面談やご利用後のサービス担当者会議でも他職種と連携して努めていきたいと感じた。
- ・生活行為向上加算は算定していませんが、積極的に訪問指導等行っていきたい。
- ・自分の職場とほぼ同じリハ職配置をしている中で様々な加算や取り組みをされており、参考になった。
- ・生活行為向上について当施設の取り組みの中でも加算につなげられる様なリハの展開をしていきたい。早急に取り掛かりたいと思う。
- ・日頃から利用者様とご家族様と交流してニーズを把握しているつもりであったが、送迎時間や訓練の介入中の合間にも密に情報収集して汲み取る必要があったと思った。

- ・各加算について知識やどのように算定を進めていくと良いか。また実際例を用いて説明がありとてもわかりやすく勉強になった。リハビリ会議では利用者様の本音を引き出しにくく、またCMの業務量等もありなかなか細かいところまで話し合いが難しい状況なので事前準備を利用して対応できたらいいと思った。
- ・定期的にリハ会に参加しているが進捗状況の共有が主になっていると思う。現実には近づける工夫は必要だと思う。本人の口から話してもらうことや本人さえも気づいていない想いを引き出すことも大変ではあるが、それがあるとさらに楽しい人生になると思う。
- ・利用者様とのADL・IADL訓練を考えるうえで必要なことを教えてもらったと思う。ぜひ生かしたです。
- ・生活行為、ニーズの聞き取りの大切さを改めて実感した。
- ・介護支援ではなく自立支援という言葉が印象に残った。
- ・通所でお会いする利用者の方の姿を中心に見てしまいがちですが、在宅でのその方の暮らしに目を向けることが大事であると改めて勉強になった。
- ・生活行為向上リハビリテーション実施加算の算定においてより在宅生活への支援、社会参加を促すことができる良い例を見させてもらった。今後参考にしていきたい。
- ・自分の施設の現在の状況と比べて利用者様のニーズに合わせたサービスの提供をしなければと反省した。リハビリ内容も自分だけで考えず本人様と他職種と連携しようとおもった。
- ・PTとして利用者様へのリハビリを新たに見直す機会になった。
- ・個別リハの枠組みを変え切れていなかったため改めて見直すきっかけとなり時間の作り方を検討したいと思う。
- ・利用者の目標をいかに引き出していくか、そしてそれをスタッフ間で共有しどうサービスに活かすかの重要性を考えさせられた。
- ・普段の業務を考えるとなかなか難しいが、このような取り組みが自分のところでもできると施設のアピールになると思った。
- ・生活向上リハビリテーション加算をとるにあたり内容が不明確な部分があったためとても理解が深まった。
- ・これから生活行為向上リハビリに取り組むところだったので、事例や取り組みを踏まえた内容で理解しやすかった。
- ・非常にわかりやすい講義だった。現在当事業所においても生活行為向上リハ算定に向けて動いているところだったので参考になった。
- ・MJDLPについてどのようなケースが当てはまるのか、どのような活用方法があるか、とても勉強になった。
- ・生活行為向上リハ算定という言葉を知ることがなかったので、講義で聞いた内容はとても参考になった。
- ・生活行為加算の実施事例を通し、当然ながら本人の生活環境が重要と再認識できた。多職種協同の重要性、難しいところも感じた。
- ・生活行為への取り組みを自事業所で取り組まないといけないと改めて思った。
- ・講義を聞いて他職種の連携はお互いの制度を理解することで利用者に必要な支援が行え、支援の仕方、アプローチの仕方が広がるのだと知ることができた。
- ・適時適切に居宅を訪問することの大切さを再確認できた。通いの場や包括支援センター、地域ボランティア

等のしげんとの情報共有や関りをもっと積極的に取り組んでいきたい。

- ・私のDCは古いやり方を続けている。そのためDSとの差別化がわからなくなっていたが、先生の講義をききDCのアイデンティティを学ぶことができた。DCとして業務を見直したいと思う。
- ・私の施設は古い施設なのでとても参考になる話だった。
- ・加算に関しては具体的なところはわからないので、自分たちも把握できF aにも説明できるよう資料作成してもよいかと思った。
- ・地域性もあり生活行為に特化したアプローチが難しい場合もあるが、参考にさせていただきたい。
- ・他の施設の情報からやり方次第では自分たちでもできるのではないかと感じた。
- ・生活行為向上加算についてこれまでハードルが高い加算のイメージがあったが、少し払拭された感じがする。今後今回の講義での内容を踏まえ検討してみたいと思う。
- ・生活行為橋上リハが算定できなければ今後算定できた場合●●になります。研修テーマ内容が生活行為向上リハの成果に感じます。
- ・本人ニーズ、自立へ向けた支援の再確認ができた。

講義2

- ・似たような利用者様がいたので（介護保険の方ですが）色々勉強になった。
- ・今後共生型サービスとデイケアの結びつきがより必要になることを改めて学べた。
- ・共生型サービスを始めて知った。今後、障害福祉方面との連携が必要になる、必要とされるようになるのか知れて良かった。
- ・共生型サービスと通所リハの関りには課題点が多いと思うが、新たなデイケアが構築できると思い参考になった。
- ・施設のある地域性は見たとき共生とされる展開の在り方が求められているように思う。早急に準備に入りたいと思う。
- ・共生型サービスは今回の制度改正のトレンドなのだと知ることができた。障害児から高齢者まで誰もがその人らしく生活できる場所づくりをしていきたい。
- ・共生サービスについて初めて知った。医療機関との連携の必要性については理解していたが、障害福祉サービスとのつながりは認識不足だったので、今後の新たな取り組みの一つとして考えていきたいと思う。
- ・共生型サービスの可能性を感じる内容だったと思う。地域連携でデイサービスは考えたことがなかったため目からウロコだった。
- ・入職したばかりで制度的なことがよくわかっていなかったことも多いので本日は勉強になった。共生型サービスの理解も深めたいです。
- ・共生型の可能性について強く感じた。
- ・共生型サービスについて詳しく知ることができ良い機会となった。
- ・今後もっと必要とされる共生型サービスについてもっと理解を深め地域のニーズに対応できるようにならなくてはならないと思った。
- ・共生型サービスの有用性、地域との関わりを持つという点で興味を地域の人からもってもらおう点で必要性を

感じた。

- ・共生型サービスについて「詳しく教えて頂き、利用者様の日常生活にも介入できより良いサービスが提供できることにはとても興味があった。
- ・自身の通所の見られ方、共生サービスの重要性について知ることができた。地域との密着には通所のメリットを発信していくことが必要と感じた。
- ・共生型についての知識を深めることができとても良かった。
- ・ビジネスならびに地域課題両面でどうにかして取り組めたらと思う。
- ・共生型サービスについて知る機会となった。
- ・共生型サービスという制度について名前しか聞いたことがなかった。通所リハを通じてたくさんのサービスを利用することが可能いうことを知り、もっと多くの事業所に広がってほしいなと思った。
- ・正直「共生型サービス」という内容を把握していなかったので地域でそんな取り組みができるという事を知る機会となった。
- ・共生サービスの内容と地域に対する後方の必要性等について非常に勉強になった。当事業所においてももっと地域に出ていくべきであると思った。
- ・共生型サービスという言葉は初めて知った。全国の老健等で行えると良いと思えるサービスだった。
- ・地域共生社会、共生型サービスについても内容が理解できた。内容のなかで使用していない時間を使いスーパーに買い物に行くなど私の勤めている所は田舎なのでそのようなサービスがあると便利だと思った。
- ・新たに通所リハとしての役割、活躍の場が広がった様に感じた。
- ・共生型サービスへの興味がわきました。いろいろと調べてみたいと思う。
- ・通所リハビリテーションは日本全体で質が確実に上がっているという事は日本全体で通所リハが地域にとって必要な役割なんだと理解することができた。
- ・共生型サービスの内容について理解できた。地域のニーズを把握するために行政SWとの情報共有する機会を検討したい。
- ・DCのかたも変化してきていることがわかった。よく人口減少で利用者も減っていくと私の事業所では話されているが、利用者の多様性もこれから見ていく必要があると感じた。
- ・共生型サービスは今後とても必要だと感じた。
- ・共生型サービスについてスタッフと話をしていきたいと思った。地域と接点をもつ、盛り上げるを皆に周知させていきたい。
- ・障害者施設サービスについては理解が不十分であるためとても貴重な話を聞くことができた。
- ・共生型についてはあまり知識がなかったのがニーズが高いことが知れて良かった。以前障害のある利用者が利用されており、暴力行為があったために障害によってはより専門性が必要なのではないかと感じている。
- ・講義1同様共生サービスについて今後必要になるサービスなのかと考えさせられた。
- ・自分が勉強してきてわかりにくい分野で参考になることが多かった。施設理事長にも提案したいこと、できることもあり受講できて良かった。

- ・介護職で加算についての知識の土台がなかったためほとんどわからなかったが、脳トレの話で今後の課題を見つけた。
- ・退院時共同指導加算やL I F Eの変更点など学んだことを部署内で周知していきたい。
- ・大体把握していたが詳しく説明してもらい良かった。
- ・介護制度の改正に伴い不明点が多かったので解説していただきありがとうございました。
- ・制度のわかりやすい講義ありがとうございました。
- ・制度改正のポイントを知ることができた。口腔栄養の強化に関しても理解を深めていきたい。
- ・制度改正に伴い要点をまとめて説明していただきとてもわかりやすかった。加算算定に伴い不明点もまだまだ多い状況だが今後も定期的に講演機会を作っていただきたい。
- ・普通そこまで詳しく見ていなかったことなので何となくわかったと思う。
- ・入職したばかりで制度的なことがよくわかっていなかったことも多いので本日は勉強になった。共生型サービスの理解も深めたいです。
- ・リハマネについて理解が深まった。
- ・制度改正の復習ができて良かった。
- ・なかなか自分では勉強しづらい部分があったのでじっくり勉強する機会となり良かった。
- ・自分の施設でまだ始められていない項目も多く改めて施設に持ち帰り話し合おうと思った。
- ・リハマネジメント加算の栄養アセスメント、口腔機能、リハマネ（ハ）の変更時の流れが分かった。
- ・診療報酬側の内容も確認しながらが分かりやすかった。
- ・ややあいまいになっていた加算の部分ではっきりした。
- ・診療報酬の視点からみることはなかったなので、この機会に触れることができた。
- ・制度改正について内容を詳しく知る機会がありとても勉強になった。まだまだ理解ができないところがあるため資料を見直したい。
- ・介護職として加算等に直接関わることはしていなかったが、内容を知ることができて良かった。
- ・制度の対する解釈の難しい点がいくつかあり、この点について理解することができて良かった。
- ・書面でしか制度改正について見ていなかったため講義によって理解を深めることができた。
- ・介護報酬改定など詳しく内容を把握していなかったので参考になった。事前にもっと制度改正の内容を頭に入れていれば今日の講義ももっと深く考えることができたと思う。通所で内容を検討したいと思う。
- ・これまでの経過を踏まえて説明いただき、とても理解につながった。また今後の部分に触れてもらえたことが現状の実務と見据えた動きがとれそうで良かった。
- ・リハマネ（ハ）をどうやって算定していくか、職場に持ち帰り考えてみたいと思う。
- ・自分が関わっている介護の中で介護報酬の内容がここまで重要な事とは知らずに仕事をしてきた。制度を理解したうえで今後の業務に携わっていききたいと思う。
- ・把握している内容だったので再確認できた。
- ・古いやり方を続けているので新しい加算に追いつけていないと感じている（当施設では）。医療との連携もあり複雑になってきたと思いまだまだ勉強不足と感じた。
- ・今回の資料をセラピストに見せたいと思う。

- ・再度介護保険の知識を振り返る機会になった。
- ・5月くらいにも今回のような研修会があれば良かった。
- ・介護報酬改定について加算の取得の間違いないか再確認できホッとしている。本当にありがとうございます。
- ・制度改正の再確認になった。
- ・曖昧だった算定要件が明確になった。

グループワーク

- ・他施設の余暇活動の話など聞いて良かった。
- ・講義以外の内容についても様々な話を伺えて良かった。
- ・自分も疑問に思っていた内容だったので参考になった。
- ・複合型サービスが将来追加されていくとのことで関連する制度や背景の理解を深めたい。
- ・フリートークでなかなか聞きにくいこともありましたが、今回はグループワーク等で情報交換できると話しやすいなと思った。
- ・リハマネ（ハ）を算定している事業所があることに驚いた。
- ・わからないことを聞いて良かった。
- ・出席者同士でフリートークができたのもっと良かった。

その他

- ・勉強になった。ディスカッション（他施設との）機会があれば他施設の取り組み等詳しく知りたいと思った。
- ・複合型サービスの強み（リアルタイムでサービスを変えられる）を知ることができた。多職種が参加している研修会だったが内容（特に制度に関するもの）がリハ職向けで他職種にはやや難しかったのではないかと感じた。
- ・普段業務に追われじっくり勉強に取り組むということが少ないので、研修会に参加できて良かった。ありがとうございました。
- ・各々の講義とても聞きやすく実践に向けて為になった。ありがとうございました。
- ・自身の施設で取り組めることから始めていきたい。
- ・自施設に持ち帰り伝達させていただきます。
- ・様々な話があり参考になった。
- ・貴重な話ありがとうございました。